項　　目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績
１．病院事業	１．事業概要 （１）総括事項 令和７年度の病院事業は、町内唯一の医療機関として、入院・外来及び救急指定病院の役割を担い、救急患者への対応に努めたほか、保健・予防活動の一環として、町保健福祉課と連携し、特定健診などの各種検診業務等を実施した。 また、常勤医師が３名体制となり、前年度に比べて１名増えたことにより、午後の一般診療を再開するなど、診療体制の充実を図った。さらに、非常勤医師による専門外来や休日等の日当直医師についても、札幌医科大学等の支援を受けながら、地域医療体制の確保に努めた。 診療支援については、小児科、眼科、整形外科、泌尿器科、内科・呼吸器科のほか、帯広第一病院消化器内科から月１回の支援を受け、内視鏡検査を実施した。 病院経営は、一般会計からの繰り入れを除く実質赤字額は５２６，２６３千円となり、前年度比３３，６１１千円の増加となった。 ①診療体制 ・医師体制　内科３人 ・出張医関連医局等 眼科外来：北海道大学大学院医学研究院眼科学教室 泌尿器科外来：帯広協会病院泌尿器科 整形外科外来：帯広整形外科 小児科外来：帯広徳州会病院小児科非常勤医師 内科・呼吸器外来：社会医療法人即仁会　北広島病院 内視鏡検査：帯広第一病院消化器内科 札幌医科大学　呼吸器・アレルギー内科学講座、神経内科学講座 旭川医科大学　麻酔・蘇生学講座 ②保健予防活動 日帰り人間ドック・特定健診・がん健診 各学校・各職場健康診断 各種予防接種 広報活動　町広報「病院だより」、「ホームページ」、「町公式ＬＩＮＥ」 ③経営安定対策 ・院内会議を継続的に開催し、経営強化プランに基づき、収益向上と経費削減に向けた対策について検討を行った。 ・医療事務の一部委託、清掃業務及び警備業務、公用車運転業務、調理業務などを当年度も全面委託し経費の削減に努めた。 ④建設改良事業 診療充実に向けた建設改良、有形固定資産を次のとおり整備した。 ・建物改良整備　　０件　　０円 ・医療機器等整備　　１０件　２３，２６６，８００円 （詳細は、２．資産の取得及び処分（１）資産の取得・器械備品等の取得欄に記載のとおり） ⑤収支決算 入院収益は、患者数の増加により前年度比２８，３６８千円の増加となった。外来収益についても、午後の一般診療再開に伴う患者数の増加により、前年度比９，３５５千円の増加となった。その他医業収益は、前年度比１，０００千円の減少、他会計負担金を除く医業外収益は１，８４５千円の増加となった。 医業費用については、前年度に比べ消耗品費は減少したものの、物価高騰や人事院勧告に伴う賃上げの影響により経費および給与費が増加したことから、

項　　目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績

前年度比７３，５３３千円の増加となった。なお、医業外費用は前年度比５５５千円の減少となった。

当年度総収益　　９０８，２５４，４７２円
当年度総費用　　９７４，５１７，２０９円
当年度純損失　　６６，２６２，７３７円
当年度未処理欠損金　１，２７４，５３６，２０２円

⑥一般会計と国保会計及び国・道からの負担金・補助金、及び企業債借入金

収益的収支
一般会計　４６０，０００，０００円（前年度　４２０，０００，０００円）
国保会計　５，０００，０００円（前年度　５，０００，０００円）
国道補助金等　７４５，３００円（前年度　１６０，０００円）
計　４６５，７４５，３００円（前年度　４２５，１６０，０００円）

資本的収支
一般会計　８７，８２４，０００円（前年度　８６，３９５，０００円）
国保会計　４，１２５，０００円（前年度　４，１２５，０００円）
国道補助金等　０円（前年度　０円）
企業債　１３，６００，０００円（前年度　２６，１００，０００円）
計　１０５，５４９，０００円（前年度　１１６，６２０，０００円）

収益的及び資本的収支の合計
一般会計　５４７，８２４，０００円（前年度　５０６，３９５，０００円）
国保会計　９，１２５，０００円（前年度　９，１２５，０００円）
国道補助金等　７４５，３００円（前年度　１６０，０００円）
企業債　１３，６００，０００円（前年度　２６，１００，０００円）
計　５７１，２９４，３００円（前年度　５４１，７８０，０００円）

（２）議会の議決事項

議会	議案	件名	議決年月日
定例第4回	議案第15号	令和7年度病院事業会計補正予算（第1号）	令和7年12月5日
定例第1回	議案第5号	令和7年度病院事業会計補正予算（第2号）	令和8年2月12日
定例第1回	議案第11号	令和8年度病院事業会計予算	令和8年2月18日

（３）職員に関する事項　　（単位：人）

職種別	6年度末 R7.3.31 現在	7年度末 R8.3.31 現在		令和７年度中の異動
		総数	内会計年度任用職員	
医　師	2	3	2	R7. 4. 1採用　1人
薬剤師	1	1	0	R8. 3.31退職　1人
臨床検査技師	2	2	1	
放射線技師	2	2	1	
理学療法士	1	2	1	R7.10. 1採用　1人
臨床工学技士	2	2	0	
看護師	33	35	6	R7. 4. 1採用　2人（内1人会計年度任用職員） R7. 4. 1異動（転出）　1人 R7. 4. 1異動（転入）　1人 R8. 2. 4採用　1人（会計年度任用職員） R8. 3.31退職　2人（内1人会計年度任用職員）

項　　目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績

准 看 護 師	7	5	3	
看護補助員	10	9	9	R7. 9.30 退職　1 人（会計年度任用職員）
栄　養　士	2	2	0	R7.4.1 異動（転出）1 人 R7.4.1 異動（転入）1 人
薬 剤 助 手	1	1	1	
事　務　員	8	9	2	R7. 4 .1 異動（転出）　1 人 R7. 4 .1 異動（転入）　1 人 R7. 4. 1 採用　1 人 R7. 8 .1 異動（転出）　1 人 R7. 8 .1 異動（転入）　1 人 R8. 3.31 退職　1 人（会計年度任用職員）
計	71	73	26	

※令和８年３月３１日付け退職者は、令和７年度末総数に含める。
※清掃員４人、警備員１人、医療事務員５人、雑役業務１人、給食調理員３人、計１４人は民間委託。

２．資産の取得及び処分

（１）資産の取得・器械備品等の取得　（単位：円）

品　　名	供用年月日	取得金額
上部消化管汎用ビデオスコープ	R7. 5.20	3,039,800
超音波画像診断装置	R7. 5.29	3,200,000
ハンドヘルドレフラクトメータ	R7. 6.19	1,150,000
個人用多用途透析装置	R7. 6.19	2,600,000
電子カルテ用ノート PC	R7. 7.30	357,000
透析用水作製装置	R7. 9.30	11,250,000
手動式オージオメータ	R7.11.26	169,000
ホルター記録器	R7.12.19	639,000
離床ｾﾝｻｰﾏｯﾄ一体型衝撃吸収ﾏｯﾄ	R8. 2. 2	120,000
DPC 作成用 PC 及び電子カルテ用プリンタ	R8. 3.25	742,000
合　　計（機械器具等）		23,266,800

（２）資産の処分　（単位：円）

品　　名	供用年月日	取得金額
個人用透析装置	H24. 6.29	4,465,000
逆浸透精製水製造装置	H25. 9.20	5,570,000
デジタルホルタ記録器	H21.12.25	850,000
デジタルホルタ記録器	H24. 5.25	880,000
東芝外科用Ｘ線テレビ装置	H14. 7.26	9,555,000
眼底カメラ光学台付	H13. 2.23	3,391,500
電動式動脈止血器	H1. 2.10	273,000
キック式吸引器	H13. 2.23	38,850
合　　計		25,023,350

項　　目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績

３．業務

（１）患者延べ人数及び１日平均患者数　　（　）前年度　（単位：人）

	入院			外来		
	延べ人数	診療日数	１日平均	延べ人数	診療日数	１日平均
内科	(11,680) 12,428	(365) 365	(32.0) 34.0	(13,190) 14,742	(243) 242	(54.3) 60.9
外科	(0) 0		(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0
眼科	(0) 0		(0) 0	(744) 698	(48) 49	(15.5) 14.2
整形外科	(0) 0		(0) 0	(353) 342	(12) 12	(29.4) 28.5
泌尿器科	(0) 0		(0) 0	(336) 382	(12) 12	(28.8) 31.8
小児科	(0) 0		(0) 0	(701) 734	(141) 140	(5.0) 5.2
合計	(11,680) 12,428	(365) 365	(32.0) 34.0	(15,324) 16,898	(243) 242	(63.1) 69.8

※　内科患者延べ人数に透析患者含む（内、透析患者延べ人数２，１６２人）
※　外来患者延べ人数の内、時間外診療４２４人（内、救急車搬入３０件）
※　外来診療、合計診療日数は開院日数

（２）集団検診等の状況　　（　）前年度　（単位：日／人）

	特定健診等	学校保育所関係健診	教職員健診	人間ドック	結核検診	職場健診	その他	計
日数	(34) 29	(33) 25	(15) 18	(32) 21	(0) 0	(147) 146	－ －	(延 261 日) 延 239 日
実施人数	(71) 77	(997) 893	(71) 69	(51) 55	(0) 0	(875) 576	(128) 128	(2,193) 1,798

（３）訪問診療の実績　　（単位：件／人）

年度別	対象実人員			訪問診療延件数			備　　考
	男性	女性	計	男性	女性	計	
７年度	12	15	27	41	53	94	
６年度	0	1	1	0	1	1	
５年度	0	2	2	0	42	42	
４年度	3	3	6	6	23	29	
３年度	1	6	7	1	42	43	

（４）訪問看護の実績　　（単位：件／人）

年度別	対象実人員			訪問看護延件数			備　　考
	男性	女性	計	男性	女性	計	
７年度	4	5	9	91	129	220	
６年度	2	1	3	54	41	95	
５年度	2	1	3	46	37	83	
４年度	1	3	4	50	69	119	
３年度	0	5	5	0	182	182	

項　　目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績

（5）事業収益に関する事項　（単位：千円）

区分	令和７年度	令和６年度	比較増減
医業収益	422,468	384,946	37,522
入院収益	224,053	195,685	28,368
外来収益	153,297	143,942	9,355
訪問看護収益	1,257	458	799
その他医業収益	43,861	44,861	△1,000
医業外収益	485,786	443,941	41,845
受取利息配当金	164	53	111
他会計負担金	460,000	420,000	40,000
患者外給食収益	120	131	△11
長期前受金戻入	22,617	22,346	271
その他医業外収益	2,140	1,251	889
国・道補助金交付金	745	160	585
収益合計	908,254	828,887	79,367

（6）事業費用に関する事項　（単位：千円）

区分	令和７年度	令和６年度	比較増減
医業費用	942,015	868,482	73,533
給与費	612,662	551,385	61,277
材料費	72,795	70,381	2,414
経　費	162,556	151,696	10,860
減価償却費	91,150	86,007	5,143
資産減耗費	1,251	7,875	△6,624
研究研修費	1,601	1,138	463
医業外費用	32,502	33,057	△555
支払利息	7,214	8,015	△801
患者外給食材料費	253	176	77
雑損失	25,035	24,866	169
特別損失	0	0	0
費用合計	974,517	901,539	72,978
収支差引	△66,263	△72,652	△6,389

４．会計

企業債及び一時借入金の概要

（1）企業債

前年度末未償還残高　　６９５，３０６，５５３円
本年度企業債発行額　　１３，６００，０００円
本年度償還金額　　１０４，８６０，９２０円
本年度末未償還残高　　６０４，０４５，６３３円

（2）一時借入金

医療機器等整備費用の支払いにより、病院事業の現金預金が一時的に不足したことから、事業運営資金を補うため一般会計から次のとおり一時借入を行った。

項　　目	主 要 施 策 ・ 成 果 ・ 予 算 執 行 実 績
	借入金額　　１５０,０００千円 借入期間　　令和７年１２月９日～令和８年３月６日